

# 防災専門員とは



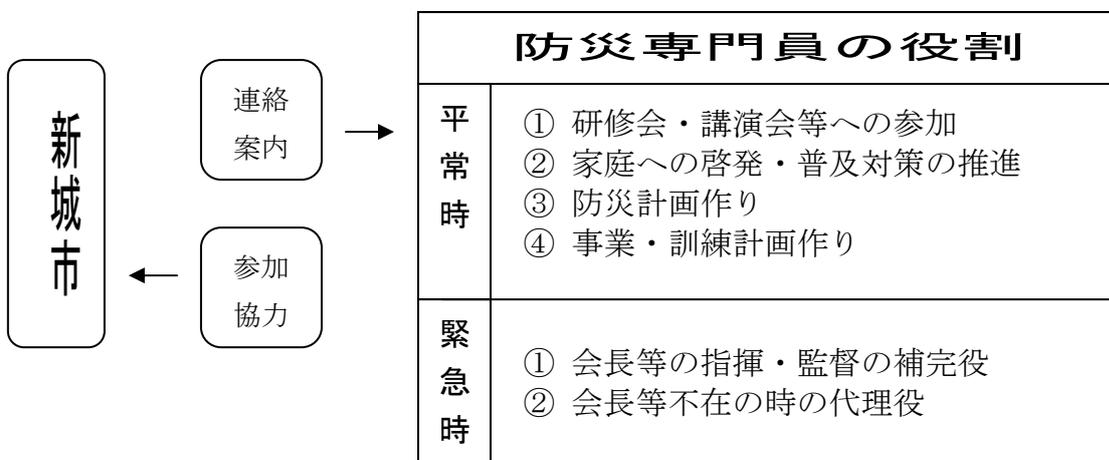
## 1 防災専門員とは

長期にわたり根気よく家庭の防災対策や自主防災活動を推進していくために、自主防災組織から推薦された人を防災専門員とします。防災専門員は、地区の安全について、情熱をもってあたる人で、まず十分な防災知識を身につけ、それを地域の人たちに伝え、理解してもらい、住民の防災意識の普及・啓発にあたります。

防災専門員のあらし

- ① 県や市が行う防災についての研修会・講演会に積極的に参加し、そこで得られた知識・情報を自主防災組織や家庭に伝え、防災対策に役立てる。
- ② 防災知識・技能を修得し、各家庭の対策についてその具体的な方法や訓練のあり方を研究し、自主防災会組織を通じて普及・啓発を図る。
- ③ 防災計画・防災訓練計画の作成など、所属する地域の自主防災組織の活動を方向づけるための作業の手助けをする。
- ④ 年度ごとの事業計画の策定など所属する地域の自主防災組織の会長の相談役・補佐役として参画する。
- ⑤ 災害時、所属する地域自主防災会組織の補完役となる。

### 防災専門員の役割図（例）



## 2 望まれる防災専門員像

- ① 防災問題に関心が高い人
- ② 行動力がある人
- ③ 自己中心でなく、地域住民全体を考える人
- ④ 多数意見を取りまとめ、又少数意見を尊重できる人

## 3 自主防災組織をまとめるためには

- ① 地域の実態を把握し、問題があった場合どうすればよいか協議する。
- ② 地域住民の防災意識を共通なものにする。
- ③ いろいろな考えをまとめ、組織活動の目標にまで高める。
- ④ 目標を達成するには、どんな方法があるのか検討する。
- ⑤ コミュニティ活動と一体となる。
- ⑥ 地域住民の隣保共同の精神により助長する。

